

資料2-(3)

地域主体による生活交通導入支援 地区の決定について

令和7年度第2回岸和田市地域公共交通協議会

令和7年10月24日

2. 支援地区の決定について

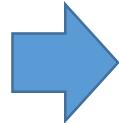
経緯

令和7年6月12日

令和7年度第一回岸和田市地域公共交通協議会にて分科会規程を改正

令和7年9月17日

岸和田市内の校区長への説明会を実施。町会長へ周知いただくとともに支援希望の地域を募集



黄金塚地区、春木・大芝地区から生活交通導入支援の要望申し出あり。

地区の状況

<黄金塚地区>

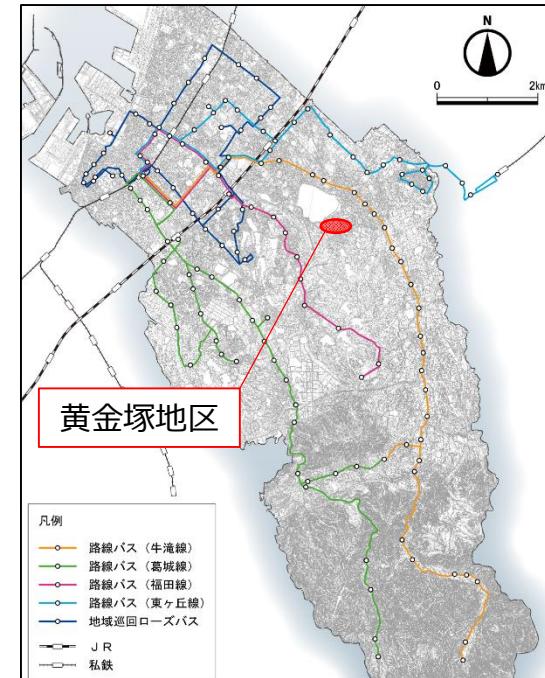
○地域の特性

- ・人口規模：約570人
- ・昭和40年代に開発された地域で、団地内は高低差あり。
付近に店舗や病院などが少なく、路線バス停留所からも遠い。
- ・地区の高齢化率は岸和田市の平均を上回る。

令和6年12月～3月 実験運行を実施

令和7年9月18日 生活交通導入支援の要望申し出

令和7年9月24日 地域での協議を実施



2. 支援地区の決定について

別記様式	令和7年10月 日
岸和田市長 様	所在地 団体名 代表者職・氏名 担当者連絡先
生活交通導入支援申請書	
生活交通の導入検討にあたり、下記のとおり申請します。	
記	
実施主体（※）	黄金塚コミュニティ交通実行委員会
対象地域	岡山町黄金塚地域
地域課題	○昭和40年代に開発された地域で、団地内は高低差あり。 付近に店舗や病院などが少なく、路線バス停留所からも遠い。 ○地区的高齢化率は岸和田市の平均を上回る。
検討したい 生活交通	予約制タクシー、デマンド交通
備考	○人口規模：約570人

※名簿は別添のとおり

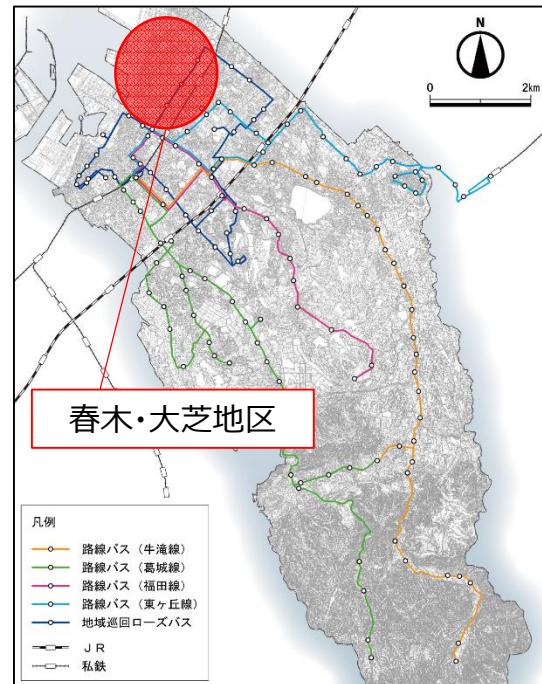
2. 支援地区の決定について

<春木・大芝地区>

●地域の特性

- 人口規模：約18,700人
- 人口が集中している区域でありながら、狭路が多く通常のバス車両の運行が困難
- 特に紀州街道より海側に位置している地域は、鉄道駅・路線バス停留所からも遠い。
- 同地区の高齢化率は岸和田市平均を上回る。

令和6年12月～3月 実験運行を実施
令和7年9月26日 生活交通導入支援の要望申し出



2. 支援地区の決定について

別記様式	令和7年10月 日
岸和田市長 様	所在地 団体名 代表者職・氏名 担当者連絡先
生活交通導入支援申請書	
生活交通の導入検討にあたり、下記のとおり申請します。	
記	
実施主体（※）	春木大芝コミュニティ交通実行委員会
対象地域	春木地域、大芝地域
地域課題	<ul style="list-style-type: none">○人口が集中している区域でありながら、狭路が多く通常のバス車両の運行が困難○特に紀州街道より海側に位置している地域は、鉄道駅・路線バス停留所からも遠い。○同地区的高齢化率は岸和田市平均を上回る。
検討したい 生活交通	デマンド交通
備考	<ul style="list-style-type: none">○人口規模：約18,700人

※名簿は別添のとおり

2. 支援地区の決定について

支援地区の決定

黄金塚地区、春木・大芝地区の2地区を支援地区として選出。

分科会構成

岸和田市地域公共交通協議会分科会規程第4条第2項に基づき、岸和田市地域公共交通協議会長が分科会長を指名。 ⇒ 日野委員

<黄金塚地区>

委員：岸和田市
学識経験者
黄金塚地区住民
他、交通事業者等

<春木・大芝地区>

委員：岸和田市
学識経験者
春木・大芝地区住民
他、交通事業者等

2. 支援地区の決定について

今後のスケジュール案

分科会により各地区の実証運行内容を再検討し、長期の実証運行の実現を目指す。

